

新年のごあいさつ

大阪府農業会議会長 中谷 清



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましてはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、国では、昨年策定された食料・農業・農村基本計画に

おいて、米の生産性向上に向けた水田政策の見直し方針や地域計画の実現に向けた取組が明記されました。

府内ではこれまでに331の地域計画が策定されましたが、約2割の農業者が規模縮小の意向であり、一方で担い手が引き受けの意向を示している農地は1%にすぎないなど、担い手不足が大きな課題となっております。

地域外の担い手や新規就農者

新春を迎えて

大阪府知事 吉村 洋文



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、大阪府政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、日頃から、地域の農地の保全と活用にご尽力いただいておりますこと、心から感謝申し上げます。

昨年の春から秋にわたり開催された大阪・関西万博では、国内外から2900万人を超える方々にご来場いただき、大いに賑わいを見せました。この万博では、次代を担う子どもたちをはじめ多くの皆様が「いのち輝く未来社会」を体感し、関連投資や来阪者による需要拡大が大阪経済にインパクトを与えるなど、様々な効果をもたらしました。また、会場内外のイベントを通じて、大阪産(もん)を知っていただく絶好の機会になった

の受け入れの条件整備等が急務となる中、農水省は経営局長通知を発出し、地域計画の実現・ブラッシュアップに向けた取組を示しており、農業委員会の機能・役割が十全に発揮できるよう農地法制の見直しも検討しております。

農業委員会は、日頃の農地利用の最適化活動を通じて十分に農業者の意向を把握し、協議の場への参画、目標地図素案の更新など、地域の実情に応じて取り組んでいくことが求められております。

また、府内では、男女共同参

と実感しております。

大阪府では、この万博のインパクトを最大限に活かし、さらに大阪産(もん)や農空間の魅力を広く発信していくとともに、成長し持続する農業をめざし、力強い大阪農業の実現に向けた取組をしっかりと進めてまいります。

さて、府内の各農村地域において、令和6年度中に策定いただいた地域計画を実現するため、地域の協議に向け調整にご協力いただいているところです。

本年も引き続き、この地域計画の実現に向け、担い手への農地の集積・集約化を図るとともに

画社会の推進、女性農業委員の登用促進の観点から女性委員の組織化の検討を進めております。

府内の女性委員は多様なご経験をお持ちの方が揃っており、消費者視点をお持ちの皆様の見が農地利用の最適化活動に反映されるよう期待を寄せております。

大阪府におかれましては、地域計画の実現をはじめ、引き続き広域行政として、大阪農業の振興発展のため、ご指導・ご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

大阪府農業委員会組織では昨

に、農業経営の改善、新規就農や企業の農業参入による農地利用の最適化などの取組をしっかりと進めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

府民への食料の安定供給の観点からも、身近なところで「食」を確保する都市農業の重要性が再認識されています。

こうした中、大阪府では畜産を除いた1畝あたりの大阪府の農業産出額を全国1位とすることをめざし、スマート農業の展開、高収益作物への転換を図る基盤整備の取組等をさらに推進するほか、多くの府民のご理解

年4月より「農地を活かし、持続可能な大阪農業を創る運動」を推進しております。

農業委員、推進委員の皆様方におかれましては、引き続き、地域農業者の代表、地域の世話役としての活動を一層充実させていただき、大阪農業の活性化に格別のご尽力をお願いいたします。

結びに、皆様方にとりまして本年が希望に満ちた佳き年となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさついたします。

とご参画のもと、様々な公益的機能を有する農空間の保全と活用に取り組んでまいります。

加えて、「大阪府肥料価格高騰対策支援金」の給付を継続して行うことにより、長引く物価高騰により厳しい状況に直面している農業者を守ってまいります。

引き続き、農業委員会、市町村、大阪府みどり公社、JAなどの関係機関の皆様と連携し、様々な取組を進めてまいりますので、一層のご理解、ご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう祈念し、新年のあいさついたします。